

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に登載された教科書総数	本報告書の総ページ数
小学校	家庭科	2	1

調査研究の観点及び各教科書の特徴

観点 発行者	基礎・基本の定着	学習方法の工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実
2 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 身につけさせたい知識や技能のポイントを「いつも確かめよう」「これだけではできるようになる」の囲みでわかりやすく示している。また、表紙をめくったところに、「いつも確かめよう」の目次があり、確かめたいことを見つけやすくしている。 巻末の拡大判に、実物大の写真で作業場面を示している。左利き用も示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れが、どれも3ステップで示されている。 【3ステップ】 (1) みつめよう (2) 計画しよう・活動しよう (3) 生活に生かそう・新しい課題を見つけよう 巻頭の「成長の記録」で題材ごとにわかったこと、できるようになったことを自己評価でき、学びの足跡がわかるようにしている。また、それをもとにして巻末の「これからのわたしたち」でもチェックできるようになっている。 教科書に直接書き込めるワークシートが充実し、学習の足跡が教科書に残るように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 発達段階を考え、ミシンの学習を5年生の最後に配列している。 マークを効果的に活用し発展的な学習や家庭での実践化を促している。 6年最後の調理実習の具体例が豊富。 文章の量が適切で理解しやすい。 リサイクルの実例を示すなど、将来にわたる学びへと方向付ける「持続可能な社会をめざして」が最後に配列されている。 日本の伝統、日々の備えなどの工夫した記述を組み入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ふりがなが大きくて見やすく、全体的に色合いが淡い。 児童が親しみやすいイラストと実物画像を効果的に用いている。 文字とイラストが併記され視覚的な支援がある。 題材名が工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題を見つけ、調べて話し合い、まとめて発表するなどの言語活動が多い。 ワークシートや計画カードのまとめ方の例が示されていて、書く活動が多い。 自由研究のコーナーがあり、もっと知りたいことを調べる活動がある。
9 開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に家庭科学習でよく使われる基礎用語の索引がある。 ガスコンロや調理器具の使い方、調理の手順、後片付けの仕方と、調理の基本が写真付きで細かく説明されており、児童が理解しやすい。 安全に対する配慮がなされている。 五大栄養素・3つの食品のグループについて、詳しく分かりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 第5学年と第6学年の学習をつなぐページがある。また、巻末で小学校の学習と中学校の学習をつなぐページがあり、「成長したわたしたち」「中学生に向かって」を設定し、小学校でできるようになったことや中学校で学びたいことの記入欄を設けている。 実践を促す「やってみよう」「家庭でじっせんしよう チャレンジコーナー」を設定しており、事例がたくさん紹介されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第5学年では、題材が細かく設定され、スモールステップで学習が進められるようになっている。 第5学年第6学年とも最初と最後に、A領域「家庭生活と家族」にかかわる題材を配置し、全体を通してA領域を意識した内容構成になっている。 矢印を活用して、2年間の学びが理解しやすいように螺旋的に提示している。 教科書に児童が記述する欄を約30組み入れている。そのうち振り返りの「できたかな」のチェックが大半である。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字のフォントが鮮明で濃く、全体的にくっきりした色合いである。 写真を多く用いている。特に、調理実習の手順はすべて写真で提示されており、分かりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題を見つけ、調べて話し合う活動はあるが、発表する活動は少ない。 ページの1番下に「ひとロメモ」があり、家庭科の用語が説明してある。 「話し合おう」のコーナーが設けられていて、意見交流させるのに役立つ。 仕事の手順の中で、振り返りの具体例がある。 カルタ等楽しい言語活動がある。